



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ラ・アトレ
 コード番号 8885 URL <http://www.latrait.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 脇田 栄一
 (氏名) 島田 隆浩

TEL 03-5405-7300

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	1,777	94.5	215	424.8	176	3,598.2	217	3,911.0
26年12月期第2四半期	913	△33.4	41	△55.5	4	△88.5	5	△89.1

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 216百万円 (3,900.3%) 26年12月期第2四半期 5百万円 (△89.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	58.41	54.38
26年12月期第2四半期	2.00	1.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	4,795	1,209	24.8
26年12月期	4,903	1,025	20.6

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 1,190百万円 26年12月期 1,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年12月期	—	0.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300	59.0	480	146.0	400	318.4	410	280.3	103.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期2Q	4,466,500 株	26年12月期	3,726,500 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

27年12月期2Q	305,286 株	26年12月期	5,286 株
-----------	-----------	---------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期2Q	3,721,794 株	26年12月期2Q	2,708,756 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結貸借対照表関係)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	15
4. 補足情報	16
(1) 生産、受注及び販売の状況	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における首都圏の新築マンション発売戸数は18,018戸と、前年同期を7.1%下回りました。契約率は好調の目安といわれる70%超の状況が1月から6月迄維持されております(数字は不動産経済研究所調べ)。建築コストの上昇に加え、都心部を中心に地価上昇の動きが広がっていることにより、物件を絞り込んで販売されていることが要因と見られます。

また、東日本不動産流通機構調べによる4月から6月までにおける首都圏中古マンションの成約件数は8,930戸と前年同期を8.4%上回りました。1㎡あたり単価は10四半期連続して前年同期の価格を上回っております。

このような環境の中、当社は引き続き実需の根強い戸別リノベーションマンション事業に注力するとともに、新築マンションの販売代理事業を推進いたしました。また、地方における土地企画販売業務の販売が完了するなど、着実に事業を展開しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高及び損益の状況は以下のとおりとなりました。

セグメント別売上高の概況

セグメント	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	構成比	前年同 四半期比
	千円	千円	%	%
不動産販売事業	772,198	1,580,893	89.0	104.7
(新築不動産販売部門)	(14,804)	(613,686)	34.5	4,045.3
(再生不動産販売部門)	(757,394)	(967,207)	54.4	27.7
不動産管理事業部門	124,425	111,832	6.3	△10.1
その他	16,981	84,327	4.7	396.6
合計	913,605	1,777,053	100.0	94.5

①売上高

(i) 新築不動産販売部門では、ランドプロジェクト業務において、岡山県岡山市北区奉還町の警察官舎跡地を引渡したこと、東京都荒川区熊野前のマンション用地を引渡したこと、販売代理業務に伴う販売代理手数料収入等により、売上高613百万円(前年同四半期比4,045.3%増)となりました。また、セグメント利益は201百万円(同3,106.4%増)となりました。

(ii) 再生不動産販売部門では、a) 戸別リノベーション販売部門において、リノベーションマンションを24戸引渡したことにより、売上高967百万円(同27.7%増)となりました。またセグメント利益は92百万円(同36.4%増)となりました。

(iii) 不動産管理事業部門は、管理物件の賃貸収入等により売上高111百万円(同10.1%減)となりました。またセグメント利益は41百万円(同45.7%増)となりました。

(注) セグメント利益とは、各セグメントの売上総利益から販売費用及び営業外費用を差し引いたものであります。

②営業利益

販売費及び一般管理費は278百万円(同87.2%増)となりました。

その結果、営業利益は215百万円(同424.8%増)となりました。

③経常利益・四半期純利益

支払利息31百万円(同15.0%減)、支払手数料4百万円(同37.0%減)を中心に営業外費用が40百万円(同15.9%減)となった結果、経常利益は176百万円(同3,598.2%増)、四半期純利益は217百万円(同3,911.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ107百万円減少し、4,795百万円となりました。これは、現金及び預金が452百万円減少したこと、仕掛販売用不動産が630百万円減少したこと、土地が180百万円減少したこと、販売用不動産が1,109百万円増加したこと等が主な原因であります。

また、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ291百万円減少し、3,586百万円となりました。これは短期借入金が337百万円減少したこと、1年内返済予定の長期借入金が236百万円減少したこと、長期借入金が346百万円増加したこと等が主な原因であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ184百万円増加し、1,209百万円となりました。これは、四半期純利益を217百万円計上したこと、新株予約権の権利行使による増資の払込みを受けたこと及び自己株式を取得したことが主な原因であります。

②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ452百万円の減少となり、350百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

a. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益195百万円、たな卸資産の増加478百万円、共同事業出資金の増加109百万円、仕入債務の減少33百万円等により469百万円の資金支出（前年同四半期は915百万円の資金支出）となりました。

b. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入219百万円、有形固定資産の取得による支出29百万円、投資有価証券の取得による支出19百万円等により283百万円の資金獲得（前年同四半期は883百万円の資金獲得）となりました。

c. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少337百万円、長期借入金の返済による支出511百万円、自己株式の取得による支出148百万円、長期借入れによる収入622百万円、新株予約権の行使による株式の発行による収入109百万円等により266百万円の資金支出（前年同四半期は370百万円の資金獲得）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の連結業績予想につきましては、平成27年8月10日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した数値からの変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、新たに設立したL'ATTRAIT PROPERTY DEVELOPMENT INC.を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	803,311	350,768
売掛金	33,425	28,811
販売用不動産	802,765	1,911,771
仕掛販売用不動産	925,940	295,239
その他	295,226	341,297
貸倒引当金	△1,067	△1,067
流動資産合計	2,859,601	2,926,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	773,525	756,558
土地	1,049,867	869,215
その他(純額)	46,157	53,858
有形固定資産合計	1,869,549	1,679,632
無形固定資産		
その他	2,598	2,261
無形固定資産合計	2,598	2,261
投資その他の資産	165,742	182,700
固定資産合計	2,037,891	1,864,594
繰延資産	6,269	4,479
資産合計	4,903,763	4,795,893
負債の部		
流動負債		
買掛金	94,766	61,460
短期借入金	1,352,600	1,015,400
1年内返済予定の長期借入金	465,126	228,614
未払法人税等	11,700	17,916
引当金	487	1,500
その他	489,599	355,051
流動負債合計	2,414,280	1,679,942
固定負債		
長期借入金	1,271,013	1,617,914
その他	193,005	288,495
固定負債合計	1,464,018	1,906,409
負債合計	3,878,299	3,586,352
純資産の部		
株主資本		
資本金	454,330	356,240
資本剰余金	344,150	554,720
利益剰余金	212,512	429,900
自己株式	△1,647	△150,147
株主資本合計	1,009,345	1,190,713
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	-	△13
その他の包括利益累計額合計	-	△13
新株予約権	8,713	5,753
少数株主持分	7,404	13,087

純資産合計	1,025,464	1,209,540
負債純資産合計	4,903,763	4,795,893

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	913,605	1,777,053
売上原価	723,848	1,283,049
売上総利益	189,757	494,003
販売費及び一般管理費	148,639	278,215
営業利益	41,117	215,787
営業外収益		
受取利息	48	132
受取配当金	110	114
受取手数料	9,523	-
雑収入	2,059	518
営業外収益合計	11,742	765
営業外費用		
支払利息	36,901	31,348
支払手数料	7,610	4,791
株式交付費償却	499	1,237
社債発行費等償却	367	553
その他	2,718	2,516
営業外費用合計	48,097	40,447
経常利益	4,761	176,105
特別利益		
固定資産売却益	-	20,802
新株予約権戻入益	6	-
特別利益合計	6	20,802
特別損失		
固定資産売却損	18,151	-
事務所移転費用	-	1,108
特別損失合計	18,151	1,108
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△13,383	195,799
法人税、住民税及び事業税	179	15,784
法人税等調整額	△18,982	△36,810
法人税等合計	△18,802	△21,025
少数株主損益調整前四半期純利益	5,419	216,825
少数株主損失(△)	-	△562
四半期純利益	5,419	217,387

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,419	216,825
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	-	△13
その他の包括利益合計	-	△13
四半期包括利益	5,419	216,811
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,419	217,381
少数株主に係る四半期包括利益	-	△569

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△13,383	195,799
減価償却費	28,237	21,831
受取利息及び受取配当金	△159	△247
支払利息	36,901	31,348
支払手数料	7,610	4,791
株式交付費償却	499	1,237
社債発行費等償却	367	553
新株予約権戻入益	△6	-
引当金の増減額(△は減少)	-	1,013
売上債権の増減額(△は増加)	4,864	4,613
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,312,201	△478,304
共同事業出資金の増減額(△は増加)	△17,579	△109,963
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,215	△33,306
未払消費税等の増減額(△は減少)	30,261	△33,420
固定資産売却損益(△は益)	18,151	△20,802
その他	362,545	△13,117
小計	△868,105	△427,974
利息及び配当金の受取額	159	247
利息の支払額	△42,873	△39,313
法人税等の支払額	△4,481	△2,171
営業活動によるキャッシュ・フロー	△915,301	△469,211
投資活動によるキャッシュ・フロー		
積立預金の預入による支出	△7,000	△3,500
出資金の払込による支出	△1,463	△50
出資金の回収による収入	-	508
有形固定資産の取得による支出	△35,958	△29,061
有形固定資産の売却による収入	929,320	219,231
投資有価証券の取得による支出	-	△19,527
貸付金の回収による収入	893	849
その他	△1,936	114,681
投資活動によるキャッシュ・フロー	883,855	283,132
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	864,110	△337,200
長期借入れによる収入	108,000	622,000
長期借入金の返済による支出	△598,145	△511,611
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	109,520
株式の発行による支出	△1,856	-
新株予約権の発行による支出	△1,080	-
自己株式の取得による支出	△40	△148,500
リース債務の返済による支出	△659	△659
財務活動によるキャッシュ・フロー	370,328	△266,450
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	△13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	338,882	△452,543
現金及び現金同等物の期首残高	140,284	803,311
現金及び現金同等物の四半期末残高	479,167	350,768

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表)

保証債務

連結会社以外の会社の金融機関からの借入に対して、次のとおり債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成26年12月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)	
G H I 合同会社	2,160,970千円	G H I 合同会社	2,134,110千円
合同会社吉祥寺ニュープラザビル	650,000千円	合同会社吉祥寺ニュープラザビル	640,685千円
計	2,810,970千円	計	2,774,795千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

①資本金の額の減少

当社は平成27年3月27日開催の定時株主総会の決議に基づき、平成27年5月1日をもって資本金を154,330千円減少し、その他資本剰余金へ振替えております。

②自己株式の取得

当社は、平成27年6月19日開催の臨時取締役会決議に基づき、自己株式を300,000株、148,500千円取得いたしました。

③新株予約権の権利行使による資本金の額及び資本準備金の額の増加

当第2四半期連結累計期間において、第3回新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ56,240千円増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における資本金は356,240千円、資本剰余金は554,720千円、自己株式は△150,147千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	新築不動産 販売部門	再生不動産 販売部門	不動産管理 事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,804	757,394	124,425	896,623	16,981	913,605
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	21,233	21,233
計	14,804	757,394	124,425	896,623	38,215	934,839
セグメント利益	6,287	68,111	28,650	103,050	33,198	136,248

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リフォーム事業、損害保険の代理店事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	103,050
「その他」の区分の利益	33,198
セグメント間取引消去	△21,233
全社費用(注)	△110,252
四半期連結損益計算書の経常利益	4,761

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	新築不動産 販売部門	再生不動産 販売部門	不動産管理 事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	613,686	967,207	111,832	1,692,726	84,327	1,777,053
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	28,981	28,981
計	613,686	967,207	111,832	1,692,726	113,308	1,806,035
セグメント利益	201,603	92,931	41,744	336,278	79,376	415,655

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、郵便物の発送代行事業、リフォーム事業、仲介事業、損害保険の代理店事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	336,278
「その他」の区分の利益	79,376
セグメント間取引消去	△28,981
全社費用(注)	△210,567
四半期連結損益計算書の経常利益	176,105

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①不動産販売事業における当第2四半期までの契約進捗状況

(i) 契約高及び契約残高(受注高及び受注残高)

(単位:千円)

当第2四半期	
平成27年12月期 第2四半期 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	
契約高	契約残高
1,461,779	315,403

(注) 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

(ii) 契約進捗率(注)

(単位:千円)

当第2四半期 売上計上分	1,580,893
当第2四半期 契約済売上計上予定分	315,403
合計	1,896,297

(注) 上記の金額には、消費税は含まれておりません。